

国分寺市立第一中学校

〔1年環境問題への取り組み〕

第一中学校では、1年生が総合的な学習の時間に環境問題への取組をしています。校内環境の調査を行い、廊下の壁塗り、校舎周りでの草取り、校庭ベンチのペンキ塗り等々の活動の他に、グリーンカーテンの栽培を行いました。写真は正面玄関の朝顔とゴーヤのグリーンカーテンです。



《力強く成長するグリーンカーテン 8月》

The gift to Kokubunji-city for the future

Green leaf Vol.2

A fresh and pleasant breeze

国分寺市立第八小学校

ハケ（国分寺産物）のある学校

国分寺八小はハケの始まりのすぐそばにある学校で、その特性を生かした環境教育に取り組んでいます。

今年度も3年生が、地域、「ハケの自然を守る会」、保護者の方々の協力を得て、「春のハケを味わおう」と「夏のハケを味わおう」の学習を行いました。

グループ毎に「ぼくの水、わたしの木」を決め、名札をかけ一年間の生長を追います。



ハケの会の方が虫や木について説明していただきました。



画用紙に木の葉っぱや、実を貼りつけ、「みきはつるつる」「葉っぱはやわらかい」という気持ちや記録し、木の輪郭や虫の絵も描きました。秋はどうなっているかな・・・

ハケの自然を守るためにできることを考え、行動する力をはぐくむ環境教育を進めています。

国分寺市立第五中学校

周囲の自然環境に恵まれた第五中学校では、今年の夏も毎朝のように敷地内のどこかで、カブトムシを見つけることができました。また、ツバメが校舎に巣を作り、みんなで温かくヒナの成長と巣立ちを見守りました。

身近にある恵まれた環境を見直し、その大切さを多面的に体感し、理解することを目的に、これまでGLOBEプロジェクト（環境のための地球学習観測プログラム）に参加して地球温暖化等の大きな問題に関わる活動をしてきました。今年度からは、環境問題を身近に感じ、中学生らしい視点で学んでいけるように、数度の草刈りを行い、ピオトープ造成に取りかかりました。ピオトープを中心とした環境システムの学習の充実を目指していきます。



《造成前の状態》

夏休み中
→



《市のコンクレータで地の掘削》

今は…
→

池の防水処理（シート）
植生づくり
水の循環システム
昆虫の育成 等の取組

Green leaf Vol.2

国分寺市立第二小学校

第二小学校では、今年度の環境教育キーワードを「親しむ」として、「全教育活動を通して、自然や環境問題に対する豊かな感受性を身に付ける。」ことを目標として様々な取組を行っています。中心的な活動として、①図工科における樹木プレート作り（6学年で実施予定）②栽培委員会・各学年による「花いっぱい学校」の取組③各学年・教職員によるCO₂削減の取組を行います。心をこめて木彫りでプレートを作ったり、花を育てたりすることを通して植物に親しむこと、また、「CO₂削減」の具体的な行動を通して環境保全に「親しむ」ことをねらっています。この他にも、環境教育に関わる教員研修、緑のカーテン、栗林などの地域の環境を生かした取組等を行っています。3カ年計画の第1年目の取組として、まだまだやらなければいけないことは多いのですが、2年目のキーワード「知る」、3年目のキーワード「行動する」に向けて、取組の充実を図っていきます。



《環境教育に関わる教員研修会》